

これまでのNバスの取組について

令和6年8月28日

南城市MM教育推進委員会

1 南城市における公共交通の再編の取組について

1.1 合併時における問題

- 各地域ごとに、那覇向けに交通網が形成されており、旧町村間の連絡が不便な状況でした。
- 路線バスの運行本数が多いのは、馬天営業所～与那原方面の限られた区間のみであり、その他の区間では路線バスの運行本数が少なく、利用しづらい状況となっていました。
- H24の市民アンケートでは「移動手段がなく、家族や知人の送迎が必要」といった問題や、「運行本数を増やしてほしい」といった要望があげられていました。

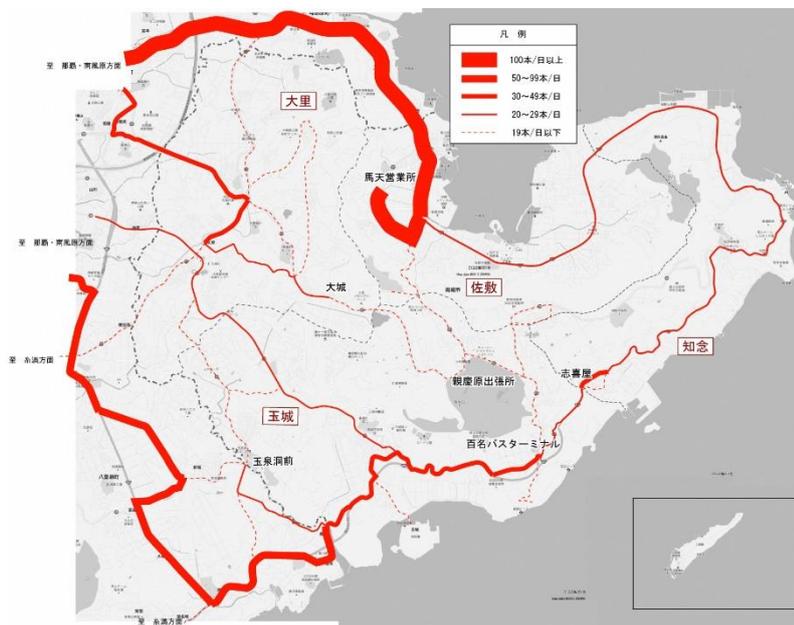


図-1.おでかけなんじい導入前の路線バスの運行本数

移動手段がなく、家族や知人の送迎が必要

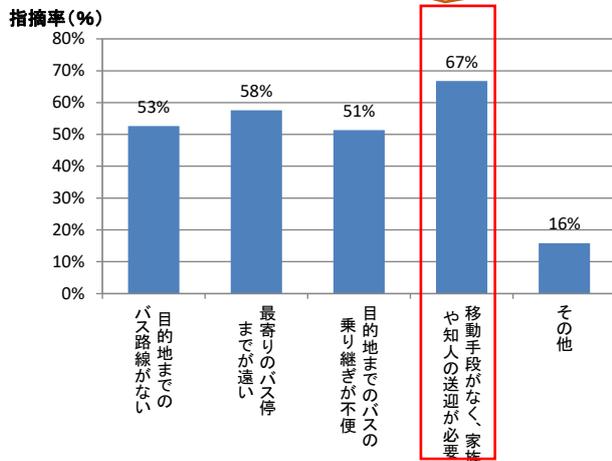


図-2.交通弱者が普段の移動で困っている点(複数回答)

運行本数を増やしてほしい

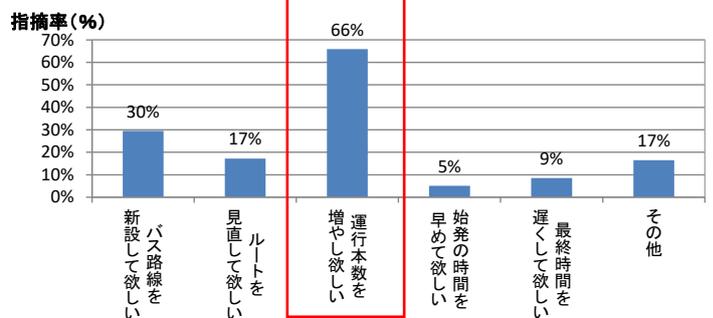


図-3.交通弱者の公共交通に対する要望(複数回答)

1.2 おでかけなんじいの導入と再編に向けた検討

- 那覇向けのルートが設定されている路線バスをカバーし、交通弱者の移動支援を目的に平成 25 年度から、デマンド交通「おでかけなんじい」を導入しました。
- その後、平成 28 年度に地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープラン「地域公共交通網形成計画」を策定、また、そのアクションプランである「再編実施計画」を令和 1 年度に策定しました。

H25 デマンド交通「おでかけなんじい」の実証実験(無償)



H26 デマンド交通「おでかけなんじい」の実証実験(有償)



H28 南城市地域公共交通網形成計画策定



R1 南城市地域公共交通再編実施計画策定



R1.10 公共交通再編実施

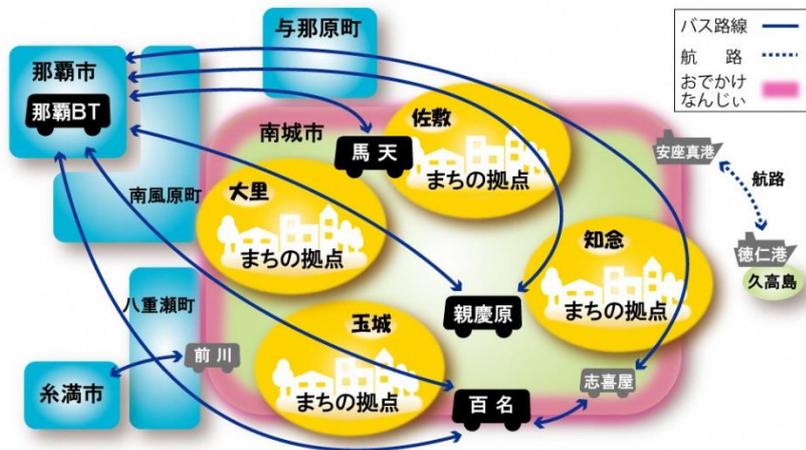
2 公共交通の再編と N バスの導入

2.1 将来ネットワークイメージ

- 公共交通の再編にあたり、中核地に整備するバスターミナルを中心とした将来の公共交通ネットワークイメージを検討しました。

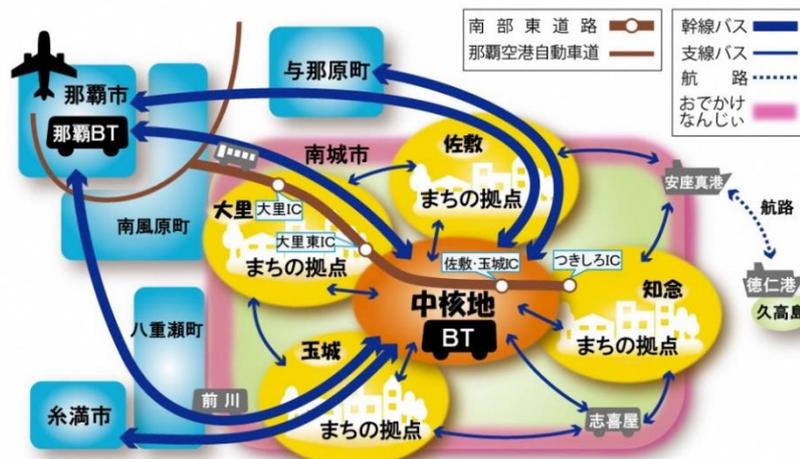
現状

- 3つのバスターミナルから各まちの拠点を経由して那覇方面にアクセス
- バス路線を束ねる交通拠点はなく、まちの拠点間の結びつきは弱い。



将来

- IC周辺の新しい拠点である中核地（市役所）を核に、公共交通網を形成。
- 中核地と那覇市等の市外を幹線バスで結ぶ。
- 市内でも一定の需要が見込める中核地～まちの拠点間等は支線バスを運行。
- 支線バスでの対応が難しいエリアの移動は「おでかけなんじい」が担う。



2.2 再編の考え方

- 網形成計画で示した将来ネットワークイメージの実現を図るため、地域公共交通再編実施計画を策定し、同計画においては、6つの具体的な考え方のもとに再編のための施策を検討しました。

網形成計画における再編の考え方

考え方①公共交通網のハブの整備

考え方②定時・速達性の高い幹線バスの導入

考え方③ハブとまちの拠点等を結ぶ支線バスの導入



再編の具体的な考え方

考え方①幹線バス・支線バス・デマンドバスの役割分担の明確化

考え方②幹線バスと支線バスの連携

考え方③交通弱者の移動需要への対応

考え方④周遊利便性の向上

考え方⑤運行効率化

考え方⑥利用しやすい料金体系の導入

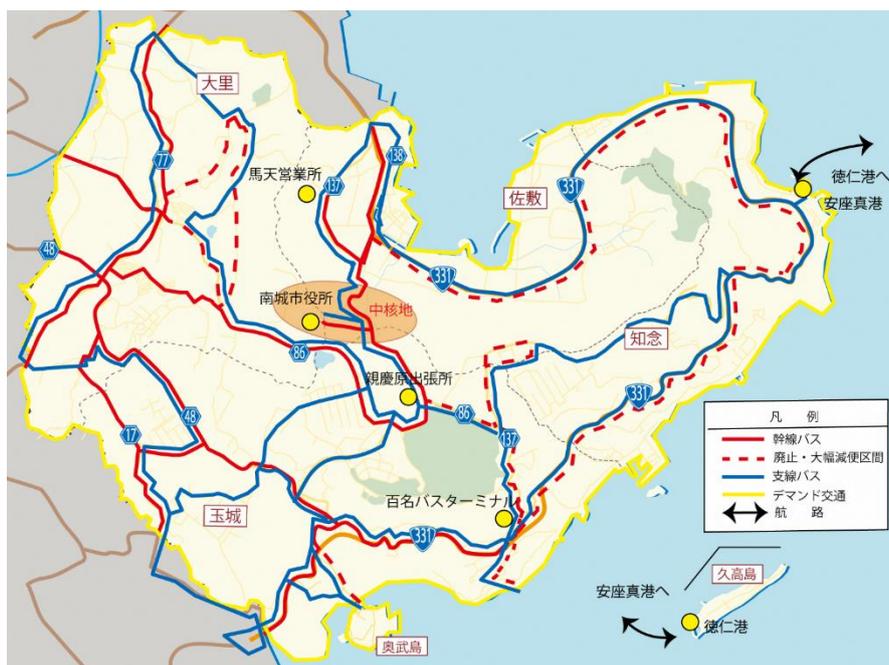
2.3 Nバスの導入

- 令和1年10月の再編で、中核地である市役所を起点とする市内線バスNバスを導入しました。
- また、南城市と市外を運行する路線バスを幹線バスと位置づけ、一部路線は、南城市役所バス停に集約し、Nバスと乗継できるように路線を見直しました。

再編前



2019年再編



- 市役所バス停で全ての支線バス(Nバス)と8系統の幹線バスが結節。
- 市役所～佐敷地区～与那原町～那覇バスターミナル間は、約20分の等間隔運行を導入。

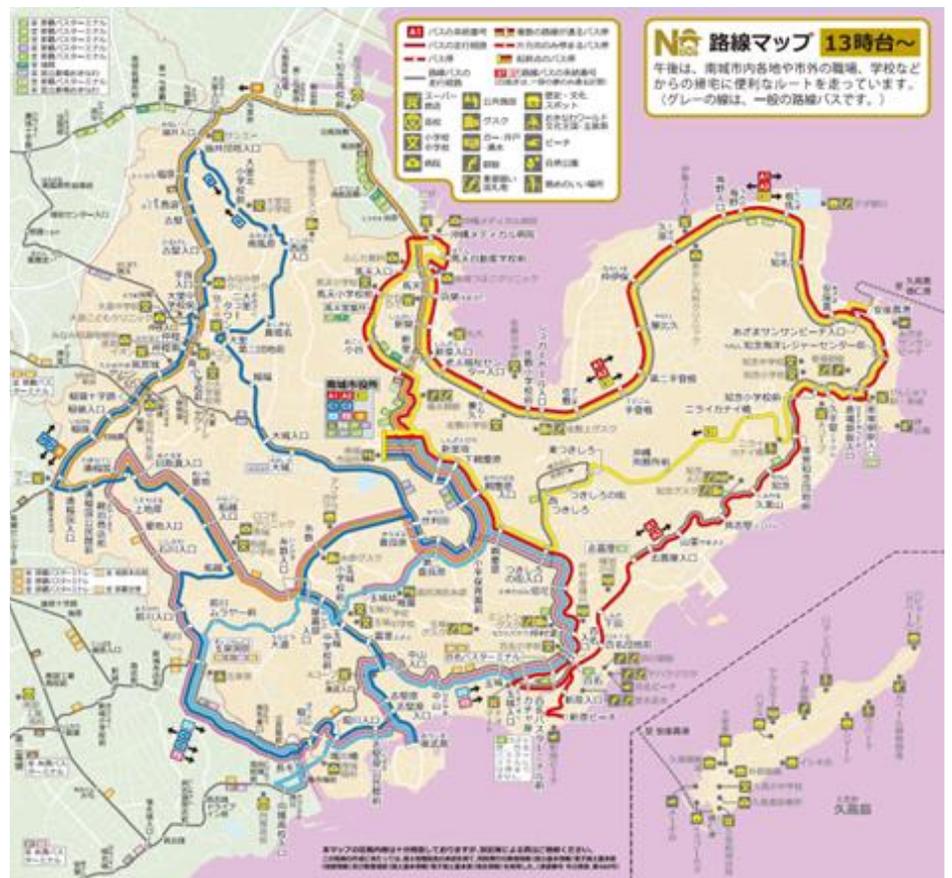
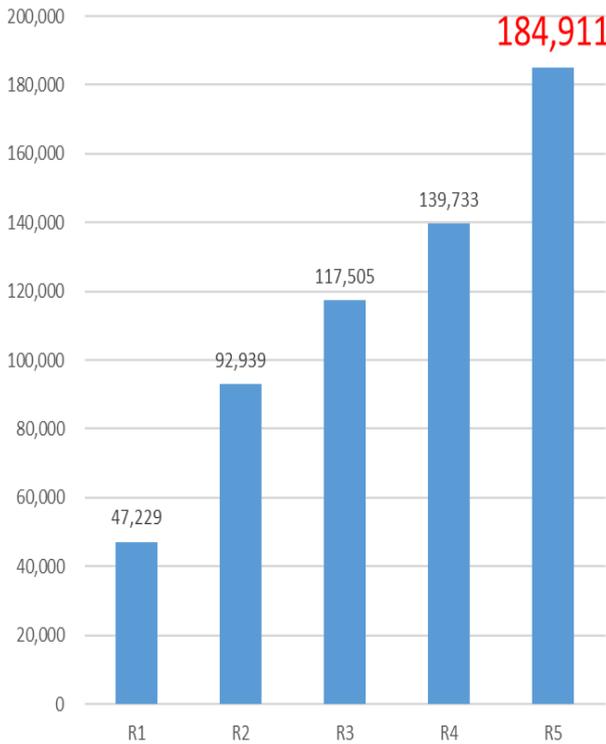


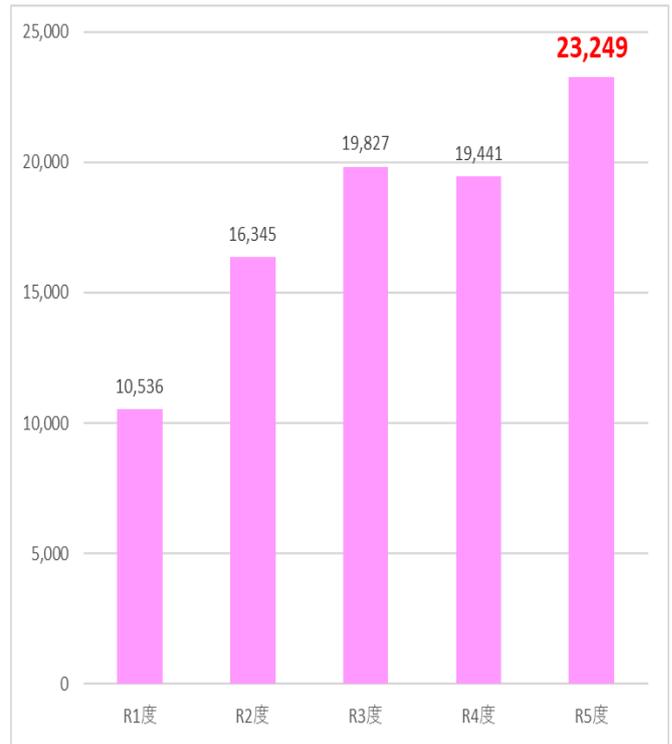
図-5.導入時のNバスのルート

3 Nバス利用者数推移

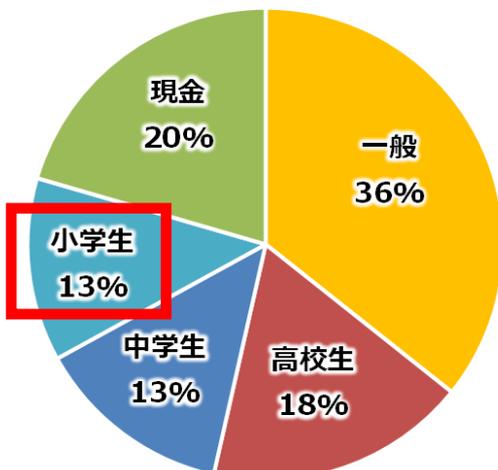
- Nバスの年間利用者数は、年々増加傾向にあり、通年で運行した令和2年度の92,939人/年から、令和5年度は、184,911人/年へと約2倍に増加しています。
- 小学生の利用者数は、令和4年度は、減少したものの令和5年度は、23,249人/年と最多となっています。



Nバス年間利用者数



Nバス小学生年間利用者数



R5度Nバス利用者内訳

4 Nバス運賃体系

- 通常料金は、大人・中高生が300円、小学生が150円となっています。
- 南城市民が利用しやすいよう、市民料金を設定し、回数券かNバスOKICAを使用することで、大人160円、小中高生80円となっております。

大人	300円
中高校生	300円
小学生	150円
未就学児	無料

南城市民にお得な回数券



Nバス回数券

大人	1,600円 (160円/枚)
中高校生	800円 (80円/枚)
小学生	800円 (80円/枚)

市民対象 回数券10枚綴り

Nバス1日乗車券



Nバス1日乗車券

大人	700円
中高校生	500円
小学生	350円
未就学児	無料

アニメコラボ1日乗車券



白い砂のアクアトープ1日乗車券

南城市を舞台としたTVアニメ「白い砂のアクアトープ」デザインとコラボしたNバス1日乗車券

大人のみ	700円
------	------

- 注1 区分は大人料金700円のみとなります。
 注2 販売所は、沖縄バス南城出張所のみとなります。
 注3 郵送等での販売は行っておりません。
 注4 ご利用の際は、沖縄バス南城出張所にてご乗車(利用)日を押印後のご利用をお願いいたします。

市民限定

**Nバス限定デザイン
OKICAカード
好評発売中!**

【回数券/1日乗車券 販売場所及び販売日時】

- 沖縄バス南城出張所（南城市役所内レストラン隣）（毎日）午前9:00～12:00 午後13:00～19:00
- あざま共同売店（試験的に販売中）（月木金土日）6:30～18:00（水）10:30～15:00（火）定休日
- がんじゅう駅・南城（試験的に販売中）（毎日）9:00～18:00

5 Nバスの運行見直し

●令和1年10月導入後、利便性向上、利用状況等を踏まえ、随時見直しを行っています。

令和4年4月

- フェリーの運行時間に合わせた急行便の運行（A1/A2、B1/B2）
- 早朝の通学便の設定（A1/A2、B1/B2）
- 路線の統合（A3→B1）
- 路線の終日双方向化（B1/B2）
- 向陽高校までのルート見直し（C1/C2、G）
- 利用が少ない夜間便の廃止（C1/C2、D2）
- 利用が少ない早朝便の廃止（D1）
- 利用が少ない系統の廃止（E）
- 利用が少ない土曜日、日祝日の廃止（F1）

令和5年4月

- 需要にあわせ早朝・夜間便のダイヤ見直し（A1/A2、B1/B2）
- 向陽高校への乗り入れと堀川地区のルート見直し（C1/C2、D2、F3）
- 向陽高校への乗り入れ（G）

令和6年4月

- 玉城こども園への乗り入れ廃止と路線統合（F1～F3→F）・見直し（A1/A2、B1/B2）
- 玉城こども園への乗り入れ廃止（D1）
- F3系統からの振り替えによる増便（D2）